

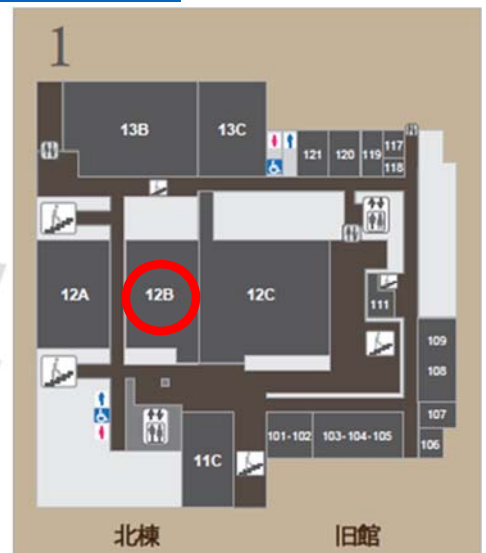
自立循環プロジェクトフェーズ5・6

パッシブ設計 ミニ公開シンポジウム

2019/03/22 13:00~18:00

日本の住宅の高断熱化が進む中で、様々な団体から種々の断熱レベルに関する提案が行われています。パッシブというキーワードも頻繁に引用されますが、その定義や根拠も様々です。本シンポジウムでは、各団体の断熱やパッシブ設計のレベルや定義・根拠をお話しいただくとともに、自立循環プロジェクトにおいて検討中のパッシブ設計の概要を明らかにし、日本に適したパッシブ設計について議論します。奮ってご参加ください。

- 主催 : 自立循環プロジェクトフェーズ5・フェーズ6
(事務局：一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 IBEC)
- 日時 : 2019年03月22日(金) 13:00-18:00
- 場所 : 東京大学本郷キャンパス 工学部2号館 212号(12B)講義室(東京都文京区本郷7-3-1)
https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html



- 参加費 : 無料
- 定員 : 150名
- 内容 : ※内容や発表者など変更する可能性があります

【第1部】パッシブ住宅のレベルと設計手法 13:00-16:00

<断熱レベルの要求水準とその根拠>

(一社)新木造住宅技術研究協議会(新住協) 代表理事

鎌田紀彦氏

2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会(HEAT20)

南雄三氏

(一社)日本エネルギーパス協会 代表理事

今泉太爾氏

自立循環型住宅研究会

木村真二氏

<設計現場における検証手法と課題>

Raphael設計 所長

神長宏明氏

Livearth((株)リビングプラザ 代表取締役)

大橋利紀氏

もろくす建築社 代表取締役

佐藤欣裕氏

<省エネルギー基準の熱負荷計算の改善>

国立研究開発法人建築研究所 環境研究グループ 主任研究員

西澤繁毅氏

【第2部】自立循環住宅開発におけるパッシブ設計の進捗 16:00-17:00

パッシブ設計の目標を再考する 東京大学工学部建築学科 准教授 前真之氏
室温と温度変動の予測手法 東京大学工学部建築学科 前研修士 藤原亮氏
パッシブ設計の気象データ抽出 佐藤エネルギーリサーチ 博士(工学) 芹川真緒氏
夏期の日射遮蔽性能に関する検討 鹿児島大学 理工学域工学系 教授 二宮秀與氏
パッシブに配慮した開口部の評価 調整中
設計現場で有効利用できるパッシブ設計ツール開発 (株)インテグラル 藤間明美氏

【第3部】パネルディスカッション「パッシブ設計の目標とは」 17:00-18:00

ファシリテーター：足利大学 工学部 創生工学科 教授 齋藤宏昭氏

なおシンポジウム終了後に、発表者の皆様を交えた会費制の懇親会(18:30~20:30)を企画しております。参加ご希望の方は、参加のご連絡とともにご記入ください。

懇親会会場 : 東京大学向ヶ岡ファカルティハウス by Abreuvior (東京都文京区弥生 1-1-1)



懇親会会費 : 4,000円/人 ※当日、会場で現金にてお支払いください。

申込 : 以下に名前(フルネーム)・所属・メールアドレス・電話番号・懇親会参加の有無をご連絡ください。

jiritsu1@ibec.or.jp

※参加状況により複数名での参加希望の企業の方は、人数調整をお願いする場合がございます。

◇本申込により一般財団法人建築環境・省エネルギー機構が取得する個人情報の利用目的は以下の通りです。

- ・本シンポジウムに係る案内及び連絡
- ・その他財団が開催する講習会・セミナーの案内

なお、個人情報保護法第24条第1項に定める事項については、当財団のホームページ(<http://www.ibec.or.jp/>)をご覧ください。当財団までお問い合わせ下さい。(電話: 03-3222-6681)